

表紙、編集規程

雑誌名	関西大学心理学研究
巻	9
発行年	2018-03
URL	http://hdl.handle.net/10112/13208

Kansai University Psychological Research

Mihoko NAKAMINE Yoshinori ITO Munenaga KODA Hiroshi SATO	Differences in the Effect of Compassion-Based Psychological Classroom Group Intervention in Adolescents.....	1
Mihoko NAKAMINE Keiko TAKEMORI Hiroshi SATO	The Effects of Self-compassion and Help-Seeking on Stress Response in Adolescents	13
Hideya KITAMURA	Effects of Affect, Multi-Facet Thinking Style, and Need for Cognition on Persuasion by Movie Ad. — Testing by Using Rapid and Slow Movie —	21
Masashi KUSHIZAKI	The Effect of Eye Closure on Empathic Accuracy and Motor Mimicry	35
Masashi KUSHIZAKI	The Effect of the Season of Birth on Empathic Accuracy and Motor Mimicry.....	47
Yukiko MAEDA Hiroshi SATO	The Relationship Among Autistic Traits, Metacognition, and Communication Skills in University Students	59
Masaya TAKEBE Hiroshi SATO	The Longitudinal Effects of Dormitory Life on Subjective Adjustment of First Year Undergraduate Students —Emotion Regulation as A Moderator—	67
	Summaries of Doctoral Dissertations and Master's thesis.....	75

関西大学心理学研究

第9号 2018年3月

関西大学心理学研究

第9号

仲嶺実甫子・伊藤義徳・甲田宗良・佐藤 寛	コンパッションに基づく心理学的学級介入プログラムの効果の検討 — 中学生を対象とした介入効果の個人差の検討 —	1
仲嶺実甫子・竹森啓子・佐藤 寛	セルフ・コンパッションが被援助志向性およびストレス反応に及ぼす影響.....	13
北村英哉	感情と多面的思考, 認知欲求が動画広告の説得効果に及ぼす影響 — TV ショッピングの速い/遅い動画を用いて —	21
串崎真志	閉眼が共感の正確性と動作の模倣に及ぼす効果.....	35
串崎真志	誕生季節が共感の正確性と動作の模倣に及ぼす効果.....	47
前田由貴子・佐藤 寛	大学生における自閉スペクトラム症傾向, メタ認知, コミュニケーション・スキルの関連.....	59
武部匡也・佐藤 寛	大学新生における寮生活が入学後の適応感に与える影響の縦断的検討 — 調整要因としての感情制御能力 —	67
博士論文・修士論文 抄録集		75

関西大学大学院
心理学研究科

編集委員会

菅村玄二* 福島宏器 脇田貴文 (*編集委員長)

編集規程

1. 本誌は、関西大学心理学研究科の機関誌として、年1回発行する。
2. 本誌の編集、掲載可否や掲載区分の決定は、関西大学心理学研究科内にある編集委員会の責任のもとに行われる。
3. 本誌は、原則として関西大学心理学研究科を構成する機関（文学部心理学専修、社会学部心理学専攻、臨床心理専門職大学院）に所属する教員ならびに教員と連名の研究者の論文、および本研究科の修士論文と博士論文の抄録の掲載にあてる。ただし、本誌の編集委員会が認める場合はこの限りでない。
4. 論文の第一著者となれるのは、原則として前記の教員、大学院生、および研究生とする。ただし、本誌の編集委員会が認める場合はこの限りでない。
5. 論文は未公開のものに限る。ただし、学会や研究会等での発表（口頭、ポスター、講演等）は除く。
6. 本誌は、国内外の心理学関連学会の研究倫理および出版倫理を遵守した研究を掲載する。
7. 論文は、発行に支障のない範囲内であれば、字数は問わない。
8. 論文の構成および表記は、日本心理学会編「執筆・投稿の手引き2015改訂版」に準拠したものとする。この手引きで規定されていない事項、および未刊行物の引用については、Publication Manual of the American Psychological Association (6th Ed.)（日本語版は『APA論文作成マニュアル第2版』）に準じる。ただし、投稿には指定のテンプレートを用い、執筆者の役割分担、他の業績との重複の有無、助成金・利益相反の有無などを明記する。
9. 論文の印刷に関し、特に費用を要するものは執筆者の負担とする。
10. 執筆者（第一著者）に対しては、抜刷20部を贈呈する。それ以上は執筆者の負担とする。
11. 本誌に掲載された論文の著作権は関西大学心理学研究科に帰属する。関西大学心理学研究科は電子掲載の権利を有する。ただし、内容についての責任は著者が負う。

(2017年6月21日改訂)